

# チャデモ協議会第2回総会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協議会の定時総会を以下のとおり開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。  
 総会では、定足数の出席を要する議案がございますので、当日ご欠席の場合は、お手数ながら同封の委任状に必要事項をご記入の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。また、総会に引き続き、レセプション開催を予定しております。万障繰り合わせの上、是非ご出席いただきますようお願い申し上げます。

敬具

## 日時

2012年5月22日(火)  
 午後2時より

## 予定議案

- 1 : 会則変更承認の件
- 2 : 会長選任の件
- 3 : 2011年度の決算承認の件
- 4 : 2012年度活動方針承認の件

## お問合せ先

チャデモ協議会 事務局 丸田 理  
 230-8510 横浜市鶴見区江ヶ崎町 4-1  
 東京電力株式会社 技術開発研究所 電動推進グループ内  
 E-mail : info@chademo.com  
 Tel: 045-633-4532

## 場所

### 東京ビッグサイト

東京都江東区有明 3-11-1

#### 交通アクセス ▶



## 出欠等の連絡

お手数ですが、別紙のとおり、ご出欠について **5月15日(火)** までにメールでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

## プログラム

### (会議棟 7階 国際会議場)

- 13:00 受付開始
- 14:00 開会・会長挨拶
- 14:05 来賓挨拶
- 14:15 監査報告・質疑応答
- 14:20 活動報告・質疑応答 (事務局)
- 15:00 議案決議

### (会議棟 1階 レセプションホールA + B)

15:30 - 17:00 レセプション

※ 総会の進行は日本語で行ない、英語の同時通訳(レシーバー)を用意します。  
 レセプションでのプレゼンテーションは日本語と英語で行ないます。(逐次通訳)

## 1：会則変更承認の件

会則の変更点は以下のとおりです。

### 現状： 第9条 第2項

2 チャデモ・プロトコルの国際標準化の推進と、関連する技術の国際的な普及、開発及び利用の促進を図り、産業の発達に貢献するため、会員が保有する特許権、実用新案権、意匠権、著作権及びその他の知的財産権（会員が本会に入会する前から保有していたものと本会に入会後取得したものの双方を含む）が、「標準仕様書」に記載されたもので、チャデモ・プロトコルに基づく機器に必須のもの（以下「必須知財」という）である場合、当該会員は他の全ての会員（将来本会に入会する新規会員を含む）に対して、**非独占、無償**、かつ世界中でその「必須知財」を実施できる、サブライセンス権なしのライセンスを許諾するものとする。



### 改定案： 第9条 第2項

2 チャデモ・プロトコルの国際標準化の推進と、関連する技術の国際的な普及、開発及び利用の促進を図り、産業の発達に貢献するため、会員が保有する特許権、実用新案権、意匠権、著作権及びその他の知的財産権（会員が本会に入会する前から保有していたものと本会に入会後取得したものの双方を含む）が、「標準仕様書」に記載されたもので、チャデモ・プロトコルに基づく機器に必須のもの（以下「必須知財」という）である場合、当該会員は他の全ての会員（将来本会に入会する新規会員を含む）に対して、**合理的非差別的条件又は無償**、かつ世界中でその「必須知財」を実施できる、サブライセンス権なしのライセンスを許諾するものとする。

改訂の理由：今後の仕様拡張などに際して、会員企業が開発した革新的な技術を CHAdeMO 仕様に取り込むインセンティブとするため。

## 2：会長選任

会長候補者は以下のとおりです。

**志賀 俊之（日産自動車株式会社 最高執行責任者）（再任）**

## 3：2011 年度の決算承認の件

2011 年度の収支は、別紙 1 監査報告のとおりです。

## 4：2012 年度活動計画の件

設立から 3 年目となる今期、「オープン化」をキーワードに以下の 3 つのアクションプランを進めていきます。また、予算執行計画は別表のとおりです。

活動スローガン「さらなるオープン化で世界に飛躍を！」

① 国際標準に向けた活動を一段と進めます。

CHAdeMO の標準仕様書は、開示範囲が正会員のみで制限されているため、入会や技術検討をしたいと考える方々から、情報開示が十分でないのご意見をいただくことがありました。

そこで、IEC など国際標準規格への提案活動を継続するとともに、JIS の標準仕様書（TS）への提案を合わせて行なうことで、国際標準の成立に先行して正確な技術情報発信に取り組みます。

② CHAdeMO メンバー、特に海外会員への情報発信を強化し透明性の高い運営を目指します。

これまで、整備部会や技術部会 WG に直接参加する機会がもてなかった会員の皆様にも、最新の活動状況をお伝えするため、Web サイトを通じた情報に加えメールでのニュースレターを拡充していきます。

③ 世界に向けた情報発信と広報活動を強化します。

CHAdeMO の活動を世界中のみなさんに広く知っていただくため、国際会議、シンポジウムへの参加、CHAdeMO としての企画展示の機会を増やしていきます。

また、EV の普及に取り組むさまざまな関係団体との連係によるイベントへも参加・後援をおこなってまいります。

参考資料

2012 年度予算案

単位 [ 千円 ]

		2011 年度 当初予算	2011 年度実 績	2012 年度 予算	備考
収入	前年度繰越金	23,06	23,062	63,500	
	充電器検定旅費 (建替請求分)	0	1,846		2011 年度 未回収立替金 ¥2,297
	会費収入	78,100	90,150	87,000	2011 年度差分は会員増による： 正会員 122 → 170、 賛助会員 126 → 193 (うち 43 は免除) 2012 年度は新規入会と大会が同数と想定
支出	事務局人件費	10,000	10,940	11,500	
	委託費	41,000	19,287	41,000	(1) 欧州 CHAdeMO の事務局業務 (INOVOS) (2) コンサルタント契約 (Serge 氏) (3) その他 (税理士、司法書士、商法登録ほか) 2011 年度予算未達成は、Serge 氏の契約開始、法人化などのスケ ジュールが遅れたことによる。
	海外出張費 (国際会議ほか)	10,000	7,141	10,000	2012 年度：IEC、SAE ほか国財会議への参加：5 回、欧州ほか CHAdeMO コミュニケーション：5 回、計 10 回程度を予定
	海外検定出張費	5,000	4,161	2,000	外部検定期間を任命することで、日本からの検定員派遣を縮小
	検定用機材費	0	1,505	15,000	2012 年度に充電器検定システム購入を計画 (当年度の特別支出)
	会議費 (総会・部会・WG 開催 費用)	13,000	1,893	8,000	2011 年度は総会 (経費 ¥10,000 を中止) 2012 年度総会経費は、¥6,000 を想定
	国内宣伝費ほか	0	2,734	3,000	2011 年度：日経 SCW 出店、充電器ステッカー製作費など 2012 年度：EV イベント規格を拡充予定
	欧州 CHAdeMO 活動経費	5,000	1,628	5,000	欧州会議開催、旅費など
	北米 CHAdeMO 活動経費	3,500	0	3,000	
	アジア・オセアニア地域活動経 費	3,600	0	3,000	借室料、通信費、消耗品、送金手数料
	雑費・その他	2,000	2,270	2,000	
差し引き	8,062	63,500	47,000		

Q 1) 議決権行使書を送るとき、印鑑または署名は必要ないのか。

A 1) 必要ありません。会員企業の担当者様の負担軽減、およびより多くの会員から回答をいただけるよう、登録していただいているメールアドレスからの回答をもって確認とします。

Q 2) 2012年度予算案の支出項目と監査報告決算書の支出項目が異なるのはなぜか。

A 2) 2012年度予算案で示す2011年度支出の実績は、協議会の活動実績ごとに使途を整理したもので、決算書は、活動内容とは独立して、会計上の仕訳をしたものです。たとえば、海外出張に伴う保険料や空港利用税は、決算書では旅費とは独立に支払い保険料として仕訳されており、予算案では一括して海外出張関連経費としています。

Q 3) 海外の充電器検定の費用は、協議会で負担しているのか。

A 3) これまでの海外充電器メーカーの検定費用は、検定員の旅費、宿泊費を CHAdeMO 協議会で立替え、実費を充電器メーカーに請求しています。協議会の負担はありません。また、東京電力から日当・技術料などの費用は請求していません。今後、外部機関に検定業務を依頼する場合には、技術料などの費用が発生することがあります。

Q 4) 2011年度に予算計上した北米、アジアでの地域活動が使われなかったのはなぜか。

A 4) それぞれの地域での活動拠点・体制を構築して、具体的な活動計画を立てる予定で予算計上しましたが、実施できませんでした。2012年度も、実現に向けた調整を継続する予定です。

Q 5) 2012年度予算は支出超過となるが、この傾向は将来も続くのか。

A 5) 2012年度予算の支出超過要因は、充電器検定において車両シミュレーション機能をもつ検定システムを購入する計画を組入れたためです。今後、東京電力以外の第三者に検定機関を拡大するための移行期間に使用する予定です。この支出は2012年度に限り発生し、2013年度以降は、収支を均衡させた予算を作成する予定です。

Q 6) 決算書にある交際費の使用目的は何か。

A 6) 会員向けに送った年賀状、クリスマスカードの費用です。